

# Financial Report

財務情報に見る >> 公立大学法人 大阪府立大学

2015

平成26年度  
財務レポート



公立大学法人

大阪府立大学  
OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

I-wing なかもす

# 高度研究型大学を目指す 大阪府立大学の取り組みを、 財務情報を通じて わかりやすくご説明します。

## 施設整備プラン(第2期中期計画版)の推進

大阪府立大学では、学生や教員、さらに大学と共同研究を行う企業の研究者など多くの関係者にとって活動しやすい教育研究環境を整えていくため、民間ノウハウも活用し効率化を図りながら、「施設整備プラン(第2期中期計画版)」を推進しています。平成26年度は、B4棟(工学域棟)の改修、植物工場研究センター及び国際交流会館「I-wingなかもず」の新設などの事業を実施しました。



B4棟(工学域棟)

## ごあいさつ

大阪府立大学は、『高度研究型大学—世界に翔く地域の信頼拠点—』を基本理念として掲げ、世界を舞台にして社会を牽引する学生の育成に注力しています。また、最先端の研究成果の還元を通じた産学官連携や生涯学習の場の提供など公立大学としてのさまざまな取り組みを進めており、「社会貢献ナンバーワン大学」を目指しています。

平成24年に学士課程向けに導入した「学域制」は、従来の学部・学科の間にある学問領域の壁を取り除き、より幅広い学問分野が学べるようにしたもので、その一期生が本年度末に卒業します。彼らはそれぞれの専門性だけでなく、深い教養と幅広い知識や技能の重要性を理解し、社会のニーズに柔軟に対応して活躍してくれることと信じています。

大阪府立大学は垣根のない大学です。新しく入学を目指している受験生、現在在学している学生、既に卒業している方々、地域の住民の皆さま、本学の学生を採用してくださる企業の皆さま、本学と一緒に研究をしてくださる企業の皆さまなど、多くの方々、多くの組織とつながりをもって大学を運営してまいります。新しい出会いが“つながり”となり、知識・価値を生んでいく、このような大阪府立大学は皆さまと“つながり”を持てることを楽しみにしています。

公立大学法人は、その設立団体に対して、年度ごとに「財務報告」をすることになっています。過日、平成26年度の財務報告書を大阪府知事に提出し、知事から承認を得ましたので、ここに、本法人が取り組んでいる事業を財政的な側面から、できるだけ身近でわかりやすく説明するものとして「Financial Report」を作成しました。今般、「Financial Report 2015」で皆さまにご報告させていただく主な事業としては、老朽化しているB4棟(工学域棟)の耐震化をはじめ、大阪府立大学の新たな国際交流の拠点、国際交流会館「I-wingなかもず」を整備、完全人工光を用いた新世代植物工場の開所、運営開始、新しいがん治療法であるBNCT(ホウ素中性子補足療法)の実証・評価イノベーション拠点である「BNCT研究センター」を開設したことなどが挙げられます。

今後も、教育・研究環境のさらなる充実を図っていくことで、高度研究型大学にふさわしい世界水準の教育・研究の実現を目指すとともに、一層の社会貢献に努めます。大学の設立団体である大阪府の財政状況が厳しい中、大学運営も年々厳しさを増してきております。このような状況下にあっても大阪府立大学を発展させ、社会で活躍する人材を育成する本学の基本的な使命は全うしなければなりません。この「Financial Report」を通して、本学の活動状況をご理解いただき、引き続きご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

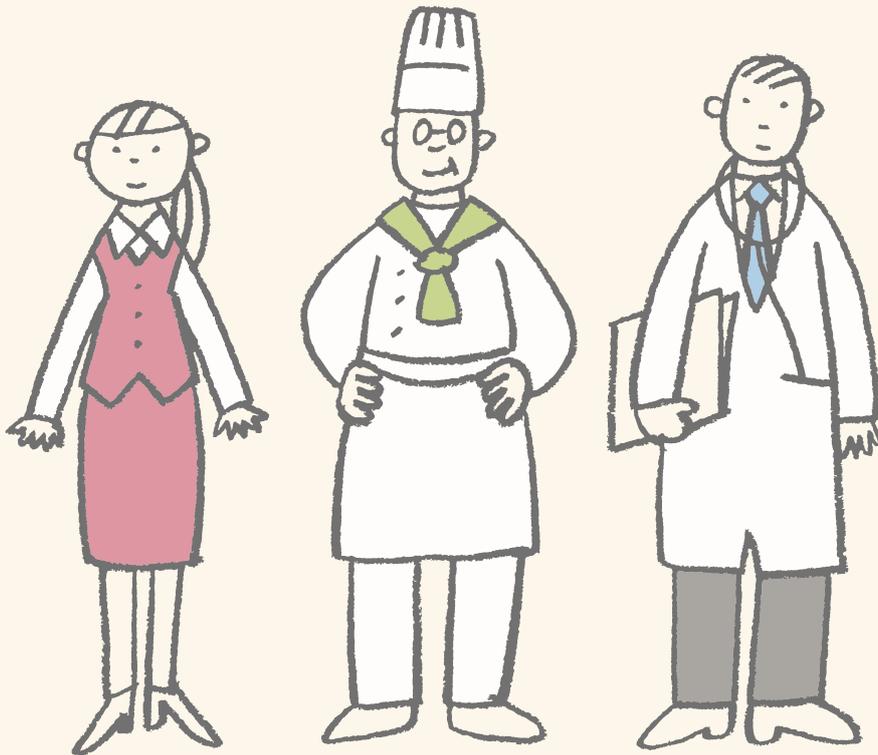
公立大学法人 大阪府立大学

理事長・学長 辻 洋





## 平成26年度の 財務状況のポイントを 聞かせてください。



さらなる経営努力を続けながら、「学域制」による  
改革に伴う教育研究環境の整備などを継続しました。

大阪府立大学は、平成24年度に、「4学域13学類体制」の新たな学びをスタートさせました。「学域制」の導入3年目にあたる平成26年度は、キャンパスプランに基づく耐震改修(B4棟)、植物工場や国際交流会館などの教育研究施設の整備を着実に推進しました。

# まず、公立大学法人会計の特色と、 財務諸表を構成する会計情報についてご説明します。

## [公立大学法人会計の特色]

公立大学法人は、授業料等の学生納付金のほか、設立団体（大阪府）からの運営費交付金等によって運営されており、地方独立行政法人法に基づき、財務状況を公開する責任を負っています。

公立大学法人の会計基準は、企業会計に準拠し公共面を加味した国立大学法人会計基準を参考にして作られており、複

式簿記により財務諸表を作成することを義務付けています。また、公立大学法人は利益の獲得を目的とせず、運営費交付金を受けて事業を実施する法人であるため、計画どおりの業務運営を実施することで損益が均衡する仕組みが、会計制度の基本となっています。

## [財務諸表を構成する会計情報]

公立大学法人では、企業会計に準じた「貸借対照表」、「損益計算書」、「キャッシュ・フロー計算書」のほか、税金を主財源としているため、企業会計にはない「行政サービス実施コスト計算書」などの作成も義務付けられています。これらの財

務諸表は、府民の皆さまに閲覧していただけるよう大学内事務所に備え置くとともに、大阪府公報や大阪府立大学のWebサイトでも、広く皆さまに向けて公開しています。

貸借対照表	<p>貸借対照表(バランスシート)は、決算日現在(3月31日)における財政状態を表すための書類です。大阪府立大学の持つすべての資産、負債および純資産について記載されています。資産とは、保有している財産と権利を表すもので、資金の運用形態(資金を何に使ったか)を示しています。負債と純資産については、資金の調達源泉(資金をどこから得たか)を示しており、負債は返済が必要なもの、純資産は返済が不要なものとなっています。</p> <p>➡ P.5 貸借対照表の概要   ➡ P.13 貸借対照表</p>
損益計算書	<p>損益計算書とは、事業年度期間(4月1日から3月31日まで)のすべての費用と収益を記載した書類です。公立大学法人は「損益均衡の原理」を基本としており、損益計算書については、企業会計のように経営成績を示すためではなく、運営状況を明らかにし、運営実績の評価に資することを目的としています。</p> <p>➡ P.6 損益計算書の概要   ➡ P.15 損益計算書</p>
キャッシュ・フロー計算書	<p>キャッシュ・フロー計算書とは、事業年度期間における資金収支の状況を、活動区分別に表示して、大阪府立大学の活動内容を資金の流れから表すものです。業務活動、投資活動、財務活動の3つに区分されています。</p>
行政サービス実施コスト計算書	<p>行政サービス実施コスト計算書とは、皆さまに負担していただいているコストを表す書類です。実施コストの中には、損益計算上の費用額に加えて、引当外退職給付増加見積額や引当外賞与増加見積額、機会費用を加味して表示します。</p>

## 財務諸表の「貸借対照表」と「損益計算書」の概要で、 平成26年度の財務状況をご説明します。

### 〔貸借対照表の概要〕（平成27年3月31日）

事業年度末時点の財政状態を表しています。

（単位：百万円）※（ ）は、内数

資産の部				負債の部			
	平成26年度	平成25年度	増減		平成26年度	平成25年度	増減
<b>固定資産</b>	<b>101,153</b>	100,291	862	<b>固定負債</b>	<b>28,412</b>	27,173	1,239
有形固定資産	82,960	82,972	△ 12	資産見返負債 <sup>※2</sup>	9,976	9,578	398
土地	37,025	37,025	0	割賦未払金(長期) <sup>※1</sup>	17,649	16,317	1,332
建物	36,737	36,121	616	資産除去債務(長期)	40	39	1
工具器具備品	2,673	3,420	△ 747	その他	749	1,238	△ 489
図書	4,864	4,901	△ 37	<b>流動負債</b>	<b>4,647</b>	5,397	△ 750
その他	1,661	1,506	155	運営費交付金債務	18	255	△ 237
無形固定資産	315	395	△ 80	寄附金債務	933	1,013	△ 80
特許権・商標権・ 産業財産権仮勘定	194	228	△ 34	割賦未払金(短期) <sup>※1</sup>	1,216	977	239
その他	121	167	△ 46	資産除去債務(短期)	17	18	△ 1
投資その他資産	17,877	16,923	954	その他	2,463	3,134	△ 671
未収財源措置予定額 <sup>※1</sup>	17,278	16,317	961	<b>負債合計</b>	<b>33,059</b>	32,570	489
その他	600	606	△ 6				
<b>流動資産</b>	<b>4,617</b>	5,338	△ 721	<b>純資産の部</b>			
現金及び預金	1,943	2,500	△ 557	資本金 <sup>※3</sup>	73,622	73,622	0
未収入金	580	572	8	資本剰余金 <sup>※4</sup>	△ 1,934	△ 1,836	△ 98
未収財源措置予定額 <sup>※1</sup>	1,204	977	227	利益剰余金 <sup>※5</sup>	942	1,192	△ 250
その他	890	1,289	△ 399	(当期未処分利益)	(6)	(42)	△ 36
				その他	81	82	△ 1
<b>資産合計</b>	<b>105,770</b>	105,629	141	<b>純資産合計</b>	<b>72,710</b>	73,059	△ 349
				<b>負債・純資産合計</b>	<b>105,770</b>	105,629	141

※1 未収財源措置予定額及び割賦未払金については、新たな施設整備をSPC方式等で長期割賦により行っているため、割賦未払金を負債に計上し、この割賦代金は設立団体(大阪府)から財源措置されるため、未収財源措置予定額として同額を資産に計上しています。

※2 資産見返負債は、運営費交付金、国等からの補助金等により償却資産を取得した場合に計上される負債です。

※3 資本金は、設立団体(大阪府)から出資された土地・建物相当額です。

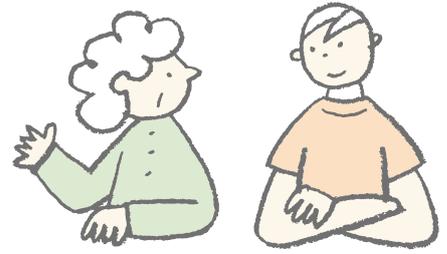
※4 資本剰余金は、設立団体(大阪府)からの施設整備補助金や、目的積立金による施設整備額及び大阪府から出資された建物等にかかる減価償却額などを計上しています。

※5 利益剰余金は、公立大学法人の運営によって生み出された成果としての利益をいいます。

(注)百万円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

「貸借対照表」「損益計算書」の詳細、「キャッシュ・フロー計算書」、「行政サービス実施コスト計算書」、「セグメント情報」の詳細については、Webサイトで開示している「財務諸表」をご参照ください。

➡ <http://www.osakafu-u.ac.jp/info/disclosure/zaimu/>



## [損益計算書の概要] (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業年度の運営状況を表しています。

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
	平成26年度	平成25年度	増減		平成26年度	平成25年度	増減
<b>経常費用</b>				<b>経常収益</b>			
教育経費	2,726	2,672	54	運営費交付金収益	11,446	10,690	756
研究経費	2,700	2,664	36	学生納付金等収益	4,919	4,784	135
教育研究支援経費	758	1,744	△ 986	受託研究等収益	1,451	1,450	1
受託研究費	1,295	1,224	71	受託事業等収益	72	76	△ 4
受託事業費	70	74	△ 4	補助金等収益	1,192	1,119	73
人件費	12,585	11,535	1,050	寄附金収益	214	141	73
一般管理費	920	917	3	資産見返負債戻入	1,091	2,070	△ 979
財務費用	303	300	3	財務収益	5	7	△ 2
雑損	1	8	△ 7	雑益	868	794	74
<b>経常費用合計</b>	<b>21,358</b>	<b>21,139</b>	<b>219</b>	<b>経常収益合計</b>	<b>21,259</b>	<b>21,129</b>	<b>130</b>
臨時損失	9	12	△ 3	臨時利益	9	15	△ 6
当期総利益	6	42	△ 36	目的積立金等取崩額	105	48	57

(注)百万円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

## ■主な変動要因

### 〈貸借対照表〉

#### 【資産の部】

- B4棟など計画的な耐震化等改修工事や、完全人工光型の植物工場研究センター及び留学生などを支援する国際交流会館を建設したことに伴い、建物が増加(616百万円)しています。
- 未収財源措置予定額(長期)の増加(961百万円)は、B4棟などの学舎整備事業に対する施設整備補助金が見込まれるものです。

#### 【負債の部】

- 割賦未払金(長期)の増加(1,332百万円)は、耐震化等施設整備及び国際交流会館の建設によるものです。

### 〈損益計算書〉

#### 【費用の部】

- 教育研究支援経費の減少(△986百万円)は、前年度に製本雑誌を中心に除却費用を大きく計上したため、減少しているものです。
- 人件費の増加(1,050百万円)は、前年度に比べて退職者数が増加したこと及び設立団体(大阪府)に準じて給与改定を実施したことによるものです。

#### 【収益の部】

- 雑益の増加(74百万円)は、共同研究企業からの施設整備協力金によるものです。



# 「教育研究の質」を 高めるために、どのような 努力をしていますか？



**教育研究環境の整備を行うとともに、高い専門性と実践力を併せ持つ人材の育成を進めています。**

大阪府立大学では、大学改革の柱となる重要課題として、「大学の教育研究等の質の向上」に取り組んできました。平成26年度は、文部科学省の「グローバルアントレプレナー育成促進事業」に本学が13機関の一つとして採択され、産学協同高度人材育成センターにおける人材育成プログラムを中心として、起業マインドを持った産業界を牽引する人材を育成する取り組みを開始しました。

# 経営の効率化によって、コスト削減に努めながら、 「高度研究型大学」にふさわしい環境の整備を進めています。

## [教育・研究環境の整備]

### 「植物工場研究センター」を開設

平成26年9月、完全人工光型植物工場研究の拠点として、「グリーンクロックス新世代植物工場」を中百舌鳥キャンパス内に開設しました。世界初のグリーンクロックス技術\*による苗診断ロボットや、LED光源の全面的な採用、植物工場として国内初となる自走式搬送ロボットなど最新技術を実装しています。平成26年10月から、「学園菜」ブランドとして、レタスなどの野菜の販売を開始しました。

\*植物体を形成する細胞内に存在する時計遺伝子の特性を利用して作物栽培を効率化する技術のシンボリックな名称



植物工場研究センター 内部



「学園菜」ブランド商品

### 「BNCT研究センター」を開設

平成26年5月、「BNCT研究センター」を中百舌鳥キャンパス内に開設しました。同センターは、次世代の癌治療として注目されているホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の実現・高度化を図ることを目的として、ホウ素薬剤に特化した世界初の研究拠点として整備されました。今後、ホウ素薬剤や関連技術の開発、人材育成などを先導して行い、その成果を発信していきます。



BNCT研究センター

### 産学協同高度人材育成事業の実施

文部科学省の平成26年度「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)」に、本学の「地域産学官連携型持続的イノベーション・エコシステム拠点:科学技術駆動型イノベーション創出プレイヤー養成プログラム」が採択されました。本プログラムでは、平成26年9月から起業家育成や大学発ベンチャーが成長するための環境構築を目的とした事業を展開しており、シリコンバレー、タイ、東京に連携拠点を構築し、ニューメキシコ大学インターンシップなども実施しています。



スタートアップ・シンポジウム

### 国際交流拠点「I-wing なかもず」が完成

平成27年2月、宿舎エリア、交流エリア、サポートエリアの3つの機能を持つ国際交流会館「I-wing なかもず」が完成しました。宿舎エリアは、大阪府立大学で学ぶ外国人留学生と日本人学生がそれぞれ個室に入居しながら一つのユニットで共同生活を送るもので、入居者同士が自然と交流できるシェアハウス型の施設となっています。



国際交流拠点「I-wing なかもず」



「開かれた大学」を  
目指して、どのような活動を  
推進していますか？



「社会貢献」、「国際交流」、「産学官連携」を進めながら、  
活動の充実を図っています。

大阪府立大学では、「地域連携研究機構」「国際交流推進機構」を設置し、「開かれた大学」に向けた活動の充実を図っています。社会貢献の一環として開設した「I-site なんば」が2年目を迎え、府民の皆さまと学生を対象とした府民講座などの各種セミナーや、本学の研究者が自らの研究テーマを分かりやすくプレゼンする「アカデミックカフェ」などを開催し、多くの方にご利用いただいています。

地域、社会、そして世界との結びつきを深め、  
未来への可能性を大きく広げています。



### [地域貢献活動の推進]

#### 「獣害から獣財へ」ー 野生害獣を食材として活用

大阪府立大学では、平成26年3月から、野生シカやイノシシによる被害に悩まされている長崎県対馬市を支援する「対馬プロジェクト」を推進しています。特定分野の研究だけでは、こうした地域の問題を解決することは難しいとの認識のもと、様々な専門分野の教員や学生たちが集まり、野生害獣を食材として活用する取り組みなどを進めています。その成果の一つとして、平成27年3月に「鹿肉缶詰」の試食会が開かれました。



「鹿肉缶詰」

### [産学連携商品の開発]

#### 地元企業と連携してお菓子を開発

総合リハビリテーション学類栄養療法学専攻の学生たちは、平成25年から、羽曳野市の特産品であるいちじくを使ったお菓子の開発「Habikinoいちじくプロジェクト」に取り組んでいます。地元企業とのコラボレーションによって生まれたお菓子「Habikino 無花果」は、ココナッツミルクムース・和らび餅・羽曳野ワインゼリーの3種類のスイーツの詰め合わせで、体に良い栄養素を多く含んだ美味しいデザートとなっています。



「Habikino 無花果」

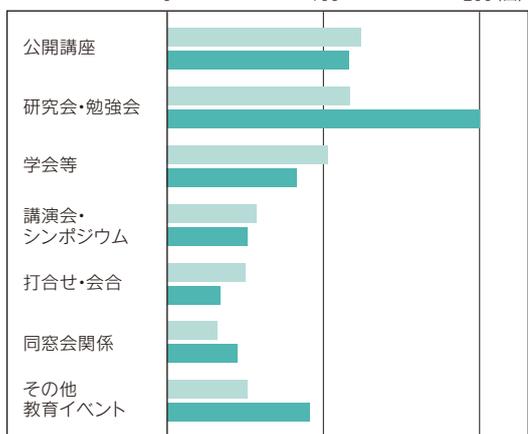
### 「I-siteなんば」の運用 「開かれた大学」の新拠点として多様な知的活動を展開

「I-siteなんば」は、大阪市浪速区の南海なんば第1ビル2・3階に、さまざまな知的活動を展開する場(サイト)として、平成25年4月に誕生しました。月に1~2回、本学教員が自らの研究テーマについてカフェ形式で語る「アカデミックカフェ」など、学術的にも活気づくりとしても意義のあるセミナーやイベントをまちライブラリーと連携して実施しています。まちライブラリーでは、参加者全員で育てるライブラリー活動「植本祭」「ライブラリーカフェ」などを実施しています。



「I-site なんば」における公開講座

I-siteなんば会議室利用実績



大阪から国際的に活躍できるものづくり技術者の育成を進めています。

## 大阪府立大学工業高等専門学校

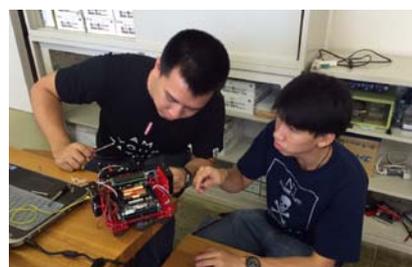
府大高専のミッションは、「創造力のある実践的技術者を養成する」と「産業および地域に貢献する」の2つです。このミッションを達成するために、平成17年度に全国の高等専門学校では初めての総合工学システム学科を立上げ、5年間一貫教育で幅広い知識を持った実践的技術者を育成してきました。また、国際的にも通用する開発研究型技術者を育成する目的で専攻科を設置し、専攻科生が、毎年、海外で開催される国際会議での発表をしています。

平成26年度は国際交流準備室を設立し、専攻科1年生7名を海外インターンシップに派遣しました。また、大阪府立大学と連携して泰日工業大学留学生支援事業に協力し、3名の留学生を受け入れ、専攻科生との授業を実施しました。そして、平成27年度からは、専攻科における学生の主体的な学習活動を一層充実させる観点から、学位授与機構が導入する専攻科の学位取得の特例適用が認可され、専攻科修了生の学位取得が工学特別研究の成果の申請と学位授与機構による審査のみに簡素化されました。

地域貢献の一環として、求職者や中小企業従事者を対象とした講習会に出向き、中小企業への人材供給や中小企業従事者のスキルアップにも積極的に取り組んでいます。平成26年度には、大阪労働協会と連携し、3回の人材育成講座を実施しました。また、内閣府が進める戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)課題の1つである「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術プロジェクト」に、大阪府立大学や大阪府立産業技術総合研究所とともに研究実施機関として参画するなど、地域貢献の充実を図りました。

また、地域の学校に対しては、さまざまな教育連携を行っています。通年の行事として「子と親の楽しいかがく教室」など13回の公開講座や20件の出前授業を行っています。

府大高専では今後さらに、大阪府立大学との相互連携による社会的ニーズに対応した授業や、先端技術を含めた専門教育を実践し、その成果を社会に積極的に還元する仕組みの構築などに注力していきます。



泰日工業大学留学生との実験風景

### 大阪府立大学工業高等専門学校の主な財務データ

(単位:千円)

	平成26年度			平成25年度		
	工業高等専門学校	法人本部及び大阪府立大学	全体	工業高等専門学校	法人本部及び大阪府立大学	全体
<b>業務費用</b>						
教育経費	192,071	2,534,259	2,726,330	181,098	2,491,246	2,672,344
研究経費	55,715	2,644,221	2,699,936	56,911	2,606,900	2,663,811
教育研究支援経費	25,808	731,885	757,693	11,382	1,732,915	1,744,297
受託研究費	4,137	1,290,681	1,294,817	17,915	1,206,582	1,224,497
受託事業費	354	70,029	70,383	983	73,317	74,300
人件費	1,055,185	11,529,471	12,584,655	1,026,718	10,508,038	11,534,756
一般管理費	44,760	875,011	919,771	65,172	851,405	916,577
財務費用	3,355	299,941	303,296	4,208	296,097	300,305
雑損	2	1,268	1,270	38	7,660	7,698
<b>業務費用計</b>	<b>1,381,387</b>	<b>19,976,764</b>	<b>21,358,150</b>	<b>1,364,424</b>	<b>19,774,160</b>	<b>21,138,584</b>
<b>業務収益</b>						
運営費交付金収益	1,104,244	10,341,870	11,446,114	1,074,542	9,614,974	10,689,516
学生納付金等収益	226,184	4,693,085	4,919,269	238,311	4,545,955	4,784,266
受託研究等収益	4,137	1,447,097	1,451,234	17,915	1,431,734	1,449,649
受託事業等収益	354	71,959	72,314	983	74,560	75,542
補助金等収益	1,832	1,189,717	1,191,549	1,042	1,117,477	1,118,519
寄附金収益	7,838	206,257	214,094	5,182	135,499	140,681
資産見返負債戻入	29,808	1,061,295	1,091,103	32,981	2,036,696	2,069,676
財務収益	-	5,499	5,499	-	7,346	7,346
雑益	8,990	858,769	867,759	6,223	787,550	793,773
<b>業務収益計</b>	<b>1,383,387</b>	<b>19,875,549</b>	<b>21,258,936</b>	<b>1,377,178</b>	<b>19,751,790</b>	<b>21,128,968</b>
<b>業務損益</b>	<b>2,001</b>	<b>△101,215</b>	<b>△99,214</b>	<b>12,754</b>	<b>△22,370</b>	<b>△9,616</b>
<b>帰属資産</b>	<b>6,939,107</b>	<b>98,830,464</b>	<b>105,769,570</b>	<b>7,038,685</b>	<b>98,590,640</b>	<b>105,629,325</b>

(注)平成23年度に工業高等専門学校を統合したため、法人本部及び大阪府立大学に加え、工業高等専門学校をセグメントとして区分しています。  
千円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

# Financial Data

データ編



## 貸借対照表

各事業年度末時点(3月31日)の財政状態を表しています。  
(平成26年度とは、平成27年3月31日現在の財政状態を表しています。)

(単位:千円)

資産の部					
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<b>I 固定資産</b>	61,715,265	99,377,611	99,553,349	100,290,826	<b>101,152,539</b>
<b>1 有形固定資産</b>	47,914,682	84,826,659	83,796,507	82,972,439	<b>82,960,021</b>
土地	–	37,024,980	37,024,980	37,024,980	<b>37,024,980</b>
建物	49,896,304	52,234,960	53,842,091	55,929,190	<b>58,384,913</b>
減価償却累計額	△14,645,114	△16,775,296	△18,147,654	△19,803,640	<b>△21,647,771</b>
減損損失累計額	△144,580	△34,309	△39,043	△4,811	–
構築物	895,794	1,282,261	1,515,155	1,571,046	<b>1,689,853</b>
減価償却累計額	△103,420	△186,003	△270,775	△346,336	<b>△451,998</b>
減損損失累計額	△4,626	△5,260	△24,972	△10,304	<b>△10,304</b>
機械装置	519,905	555,752	565,126	569,265	<b>898,308</b>
減価償却累計額	△129,821	△254,247	△330,889	△412,093	<b>△557,097</b>
工具器具備品	8,973,658	10,201,038	10,878,934	11,848,365	<b>12,448,445</b>
減価償却累計額	△4,603,605	△6,094,041	△7,206,853	△8,428,764	<b>△9,775,600</b>
図書	7,202,177	6,839,314	5,957,725	4,900,750	<b>4,863,897</b>
美術品・収蔵品	26,910	27,070	27,420	27,420	<b>27,420</b>
船舶	1,810	–	–	–	–
減価償却累計額	△1,809	–	–	–	–
車両運搬具	7,357	8,019	8,019	8,019	<b>8,019</b>
減価償却累計額	△3,137	△4,249	△5,361	△6,441	<b>△7,155</b>
建設仮勘定	26,880	6,671	2,603	63,914	<b>31,050</b>
その他	21,853	21,853	21,853	65,937	<b>65,937</b>
減価償却累計額	△21,853	△21,853	△21,853	△24,057	<b>△32,874</b>
<b>2 無形固定資産</b>	326,535	464,946	457,971	395,092	<b>315,239</b>
特許権	7,801	26,969	47,939	70,601	<b>73,515</b>
商標権	1,614	1,298	983	432	<b>169</b>
ソフトウェア	95,139	208,073	197,711	165,742	<b>119,813</b>
電話加入権	980	1,050	1,050	1,050	<b>1,050</b>
産業財産権仮勘定	221,001	227,555	210,288	157,268	<b>120,692</b>
<b>3 投資その他の資産</b>	13,474,048	14,086,005	15,298,871	16,923,296	<b>17,877,279</b>
投資有価証券	274,002	787,946	552,012	593,773	<b>592,034</b>
長期前払費用	2,507	7,325	10,042	11,703	<b>6,583</b>
未収財源措置予定額	13,195,765	13,288,960	14,735,044	16,317,046	<b>17,277,625</b>
その他	1,774	1,774	1,774	774	<b>1,038</b>
<b>II 流動資産</b>	5,562,154	5,251,952	5,737,658	5,338,498	<b>4,617,031</b>
現金及び預金	2,905,370	3,511,582	3,399,447	2,499,806	<b>1,943,429</b>
有価証券	298,434	400,000	800,000	1,200,000	<b>800,000</b>
たな卸資産	20,022	27,639	31,656	28,373	<b>32,658</b>
前渡金	1,954	3,540	3,208	2,588	<b>5,591</b>
前払費用	14,035	20,572	31,897	35,543	<b>30,221</b>
未収収益	7,584	25,190	24,020	21,116	<b>19,185</b>
仮払金	2,035	485	726	1,838	<b>1,966</b>
未収入金	1,206,604	355,730	248,915	572,418	<b>580,458</b>
未収財源措置予定額	1,106,118	907,212	1,197,789	976,816	<b>1,203,524</b>
立替金	–	–	–	–	–
<b>資産合計</b>	<b>67,277,419</b>	<b>104,629,562</b>	<b>105,291,007</b>	<b>105,629,325</b>	<b>105,769,570</b>

千円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

負債の部					
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<b>I 固定負債</b>	26,227,716	26,752,568	26,377,396	27,172,612	<b>28,412,442</b>
<b>資産見返負債</b>	11,179,923	11,093,198	10,253,661	9,577,642	<b>9,975,545</b>
資産見返運営費交付金等	1,847,876	1,931,980	2,041,506	2,436,559	<b>2,624,058</b>
資産見返補助金等	1,411,048	1,258,364	1,101,645	1,181,320	<b>1,442,004</b>
資産見返寄附金	740,762	799,361	943,853	934,827	<b>1,069,010</b>
資産見返物品受贈額	6,932,356	6,874,240	5,956,019	4,803,754	<b>4,688,731</b>
建設仮勘定見返運営費交付金等	247,881	227,555	210,638	2,474	–
建設仮勘定見返補助金等	–	–	–	61,440	<b>31,050</b>
建設仮勘定見返寄附金	–	1,698	–	–	–
産業財産権仮勘定見返運営費交付金等	–	–	–	157,268	<b>120,692</b>
長期寄附金債務	224,952	324,875	91,090	91,090	<b>91,090</b>
退職給付引当金	448,885	476,133	–	–	–
長期未払金	14,373,956	14,713,317	15,975,623	17,326,945	<b>18,178,615</b>
長期資産除去債務	–	145,044	57,022	39,435	<b>39,692</b>
長期前受収益	–	–	–	137,500	<b>127,500</b>
<b>II 流動負債</b>	5,339,648	5,317,831	5,668,821	5,397,267	<b>4,646,868</b>
運営費交付金債務	–	37,361	130,111	255,460	<b>18,240</b>
預り補助金等	8,971	4,716	15,192	7,783	<b>10,110</b>
寄附金債務	722,611	699,937	862,169	1,012,945	<b>932,937</b>
前受受託研究費等	201,513	281,956	216,888	343,166	<b>163,615</b>
前受受託事業費	–	–	1,364	354	<b>1,967</b>
未払金	4,037,096	3,732,968	3,901,974	3,216,014	<b>2,923,611</b>
未払費用	25,041	58,025	40,251	45,277	<b>54,682</b>
未払消費税等	–	24,766	1,634	5,928	<b>20,724</b>
預り科学研究費補助金等	97,118	192,051	150,764	198,742	<b>166,195</b>
預り金	247,298	284,566	258,497	283,687	<b>328,199</b>
前受収益	–	–	–	10,000	<b>10,000</b>
短期資産除去債務	–	1,485	89,979	17,911	<b>16,589</b>
<b>負債合計</b>	<b>31,567,364</b>	<b>32,070,399</b>	<b>32,046,218</b>	<b>32,569,878</b>	<b>33,059,310</b>

純資産の部					
<b>I 資本金</b>	35,147,211	73,621,776	73,621,776	73,621,776	<b>73,621,776</b>
地方公共団体出資金	35,147,211	73,621,776	73,621,776	73,621,776	<b>73,621,776</b>
<b>II 資本剰余金</b>	213,484	△1,530,298	△1,625,538	△1,836,352	<b>△1,934,158</b>
資本剰余金	15,491,029	15,976,041	17,478,343	19,062,301	<b>20,739,090</b>
損益外減価償却累計額	△15,152,006	△17,487,132	△19,069,193	△20,892,455	<b>△22,666,741</b>
損益外減損損失累計額	△125,540	△15,269	△30,189	△3,350	<b>△3,350</b>
損益外利息費用累計額	–	△3,938	△4,499	△2,847	<b>△3,157</b>
<b>III 利益剰余金</b>	300,310	425,586	1,208,362	1,191,833	<b>941,953</b>
教育研究の質の向上及び組織運営改善積立金	83,621	–	158,643	963,418	<b>746,311</b>
積立金	212,734	–	5,909	35,398	<b>38,849</b>
前中期目標期間繰越積立金	–	261,034	150,673	150,673	<b>150,673</b>
当期末処分利益	3,955	164,551	893,138	42,343	<b>6,120</b>
<b>IV その他有価証券評価差額金</b>	49,050	42,100	40,190	82,190	<b>80,690</b>
<b>純資産合計</b>	<b>35,710,055</b>	<b>72,559,163</b>	<b>73,244,790</b>	<b>73,059,446</b>	<b>72,710,260</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>67,277,419</b>	<b>104,629,562</b>	<b>105,291,007</b>	<b>105,629,325</b>	<b>105,769,570</b>

千円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

## 損益計算書

各事業年度(4月1日～3月31日)の運営状況を表しています。  
(平成26年度とは、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの運営状況を表しています。)

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<b>経常費用</b>	<b>18,918,824</b>	<b>21,442,141</b>	<b>21,180,522</b>	<b>21,138,584</b>	<b>21,358,150</b>
業務費	17,457,151	20,002,553	19,780,587	19,914,004	20,133,814
教育経費	2,039,458	2,126,477	2,539,167	2,672,344	2,726,330
研究経費	1,999,684	2,160,494	2,564,366	2,663,811	2,699,936
教育研究支援経費	1,003,298	1,233,653	1,576,024	1,744,297	757,693
受託研究費	1,003,776	1,486,475	1,148,731	1,224,497	1,294,817
受託事業費	120,659	78,572	63,826	74,300	70,383
役員人件費	94,442	91,454	188,013	77,997	138,175
教員人件費	8,425,285	10,032,575	8,965,103	8,726,437	9,640,847
常勤教員	8,238,074	9,769,406	8,682,660	8,406,922	9,297,264
非常勤教員	187,211	263,169	282,444	319,515	343,583
職員人件費	2,770,549	2,792,854	2,735,356	2,730,321	2,805,633
常勤職員	1,643,471	1,530,519	1,460,605	1,527,189	1,539,406
非常勤職員	1,127,078	1,262,335	1,274,752	1,203,132	1,266,227
一般管理費	1,197,288	1,134,299	1,132,650	916,577	919,771
財務費用	264,385	303,171	265,826	300,305	303,296
支払利息	261,017	303,149	265,826	300,305	303,296
その他	3,369	22	-	-	-
雑損	-	2,118	1,458	7,698	1,270
<b>経常収益</b>	<b>18,772,617</b>	<b>21,561,508</b>	<b>21,661,396</b>	<b>21,128,968</b>	<b>21,258,936</b>
運営費交付金収益	10,349,916	11,143,537	10,942,717	10,689,516	11,446,114
授業料収益	3,641,943	4,180,493	3,986,918	3,737,966	3,864,453
入学金収益	747,148	748,731	739,466	712,360	735,093
検定料収益	377,666	352,156	329,742	333,940	319,723
受託研究等収益	1,163,353	1,674,461	1,319,105	1,449,649	1,451,234
国又は地方公共団体	222,861	447,347	205,971	202,291	217,478
国又は地方公共団体以外	940,492	1,227,114	1,113,134	1,247,358	1,233,756
受託事業等収益	124,078	79,834	65,689	75,542	72,314
国又は地方公共団体	68,657	60,978	47,642	61,814	50,644
国又は地方公共団体以外	55,421	18,856	18,046	13,728	21,670
補助金等収益	771,351	1,000,470	1,518,679	1,118,519	1,191,549
寄附金収益	121,672	117,715	165,806	140,681	214,094
資産見返負債戻入	822,778	1,472,890	1,835,607	2,069,676	1,091,103
資産見返運営費交付金等戻入	224,907	249,653	358,860	322,558	343,883
資産見返補助金等戻入	91,241	238,961	249,553	263,690	331,355
資産見返寄附金戻入	233,000	262,749	264,780	267,947	257,917
資産見返物品受贈額戻入	246,150	688,936	915,582	1,151,511	114,777
建設仮勘定見返運営費交付金等戻入	27,215	32,591	46,115	26	-
建設仮勘定見返補助金等戻入	266	-	-	-	-
建設仮勘定見返寄附金戻入	-	-	718	37	-
産業財産権仮勘定見返運営費交付金等戻入	-	-	-	63,908	43,171
財務収益	4,739	3,463	6,110	7,346	5,499
雑益	647,972	787,757	751,559	793,773	867,759
獣医臨床センター診療収益	170,279	213,495	198,843	218,040	201,509
科学研究費補助金等間接経費収益	216,367	263,675	260,727	257,149	244,349
財産貸付料収益	43,439	44,016	57,599	66,333	71,304
物品受贈益	74,669	106,487	87,607	94,972	83,984
その他	143,218	160,084	146,783	157,279	266,613
<b>経常利益(△=経常損失)</b>	<b>△146,208</b>	<b>119,367</b>	<b>480,874</b>	<b>△9,616</b>	<b>△99,214</b>

千円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

(単位:千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<b>臨時損失</b>	496,073	82,697	6,440	11,623	<b>8,561</b>
固定資産除却損	13,009	5,101	6,440	11,623	<b>8,561</b>
退職給付費用	448,885	-	-	-	-
その他臨時損失	34,179	77,596	-	-	-
<b>臨時利益</b>	276,256	88,606	398,970	15,350	<b>8,561</b>
固定資産売却益	-	-	-	2,306	-
資産見返運営費交付金等戻入(除却)	-	-	3,212	11,170	<b>7,133</b>
資産見返補助金等戻入(除却)	1,416	-	216	-	-
資産見返寄附金戻入(除却)	4,265	5,058	374	1,119	<b>1,184</b>
資産見返物品受贈額戻入(除却)	722	42	2,638	755	<b>245</b>
物品受贈益(譲与)	-	82,133	-	-	-
運営費交付金収益	242,303	-	-	-	-
退職給付引当金戻入益	-	-	392,530	-	-
その他臨時利益	27,550	1,372	-	-	-
<b>当期純利益(△=当期純損失)</b>	△366,024	125,276	873,405	△5,889	<b>△99,214</b>
目的積立金取崩額	369,979	-	-	48,232	<b>105,334</b>
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	39,276	19,733	-	-
<b>当期総利益(△=当期総損失)</b>	3,955	164,551	893,138	42,343	<b>6,120</b>

千円未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。





財務情報に見る >> 公立大学法人 大阪府立大学

## Financial Report 2015



高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

経営企画部 経営企画課

TEL. 072-254-9110

<http://www.osakafu-u.ac.jp/>